

全員が力を発揮し認め合う学級づくり

温かく受容的な学級

たとえば、**先生が子どもを認める言葉がけをしたのに**、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返って**みましょう。



よさを認める言葉がけをしたのに、表情が暗くなる。



先生が「なるほど」と納得したのに、周りの子の反応が薄い。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から掘り下げてみましょう。



その子は過度な褒め言葉として受け取っている可能性はありませんか？



先生による「なるほど」という納得を、子ども自身は感じているのでしょうか？

こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を見直してみましょう。



「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

(たとえば、こんな問いかけで対話を深めていきましょう)

- ・「子どもの視点」に立って実践を見直したら、〇〇先生はどんな気づきがありましたか？
- ・「子どもの視点」から掘り下げて考えたら、こんな問題に気付いたのですが、〇〇先生だったらどう考えますか？

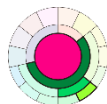


メモ

試みたいこと

「温かく受容的な学級」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名)



長野県教員育成指標との関連

「温かく受容的な学級」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈生徒指導〉⑩〈個への指導〉ならびに⑪〈集団への指導〉に関連しています。